

町田市子どもの発達支援に
関する調査報告書

2024年3月
町田市

目次

I. 調査概要	2
1. アンケート調査の目的	2
2. アンケート調査対象及び方法・回収状況	2
3. 前回アンケート調査の概要	2
4. 『気になる子』について	3
5. 報告書の見方	3
6. ヒアリング調査の目的	4
7. ヒアリング対象・内容	4
II. 調査結果のまとめ	6
1. 子どもの生活状況・地域社会とのつながり	6
2. 発達支援に関する相談・連携の状況および体制	8
3. 支援・サービス利用状況および提供体制	9
4. 調査間共通設問	11
III. 調査結果 ～保護者調査～	14
1. 子どものことについて	14
2. 子どもの生活環境について	42
3. 子どもの通園・通学の状況について	72
4. 子どもの外出や社会参加について	84
5. 利用している支援やサービスについて	98
6. 調査間共通設問	116
7. 子どものより良い生活に必要なことやご意見・ご要望	154
8. 宛名の子どもへの調査	156
IV. 調査結果 ～関係機関（管理者）調査～	182
1. 施設の基本的な事項について	182
2. 施設における児童・生徒への対応状況	187
3. 専門機関との連携状況	205
4. 調査間共通設問	210
5. 保育・教育等で工夫していることやご意見・ご要望	230
V. 調査結果 ～関係機関（従事者）調査～	232
1. 従事者について	232
2. 担当している児童・生徒について	234
3. 調査間共通設問	238
VI. 調査結果 ～事業所調査～	242
1. 事業所の概要	242
2. サービスの提供状況・体制について	244
3. 調査間共通設問	251
VII. ヒアリング調査	254
1. ヒアリング結果 <この2～3年の子どもの発達支援の課題・困難について>	254
2. ヒアリング結果 <発達支援を支える支援者について>	255
3. ヒアリング結果 <地域共生に向けた地域の人々との連携について>	258
4. ヒアリング結果 <支援や手助けの必要な子どもの意見を聴くために必要な行動・姿勢>	260
5. ヒアリング結果 <子どもの意見（町田の丘学園：生徒）>	261
6. ヒアリング結果 <その他>	262
VIII. 資料編	264
1. 保護者調査票	264
2. 関係機関（管理者）調査票	272

3.	関係機関（従事者）調査票	277
4.	事業所調査票.....	280

I 調査概要

I. 調査概要

1. アンケート調査の目的

2023 年度に『町田市子ども発達支援計画行動計画 2021～2023（第二期障害児福祉計画）』を見直し、2024 年以降の『(仮称) 町田市子ども発達支援計画行動計画 2024～2026（第三期障害児福祉計画）』の策定に向けて、市内の障がい児の生活状況や福祉サービスの利用・提供状況やニーズ・課題等を把握し、計画策定の基礎資料を作成することを目的として調査を実施しました。

2. アンケート調査対象及び方法・回収状況

以下の通り、各調査（対象者）を実施いたしました。また、調査方法・回収状況は以下の表の通りです。

- 保護者調査：障害者手帳所持・受給者証所持・子ども発達センター親子通園・グループ指導利用児童の保護者*
- 子どもへの調査：中学生以上の障害者手帳所持・受給者証所持児童（同一世帯に該当する児童が複数いる場合*）
- 関係機関（管理者）調査：市内の保育園・幼稚園・認定こども園と公立小中学校の管理者
- 関係機関（従事者）調査：市内の保育園・幼稚園・認定こども園と公立小中学校の従事者
- 事業所調査：児童発達支援/居宅訪問型児童発達支援/放課後等デイサービス/障害児相談支援事業所の管理者

※同一世帯に該当する児童が複数いる場合（例：兄弟姉妹で障害者手帳、受給者証を所持している）は、最も年齢の高い児童のみ

調査名		配布方法	回答方法	発送数	郵送回収数	WEB回収数	回収数	回収率	回答期間
保護者調査		郵送	郵送・WEB	1,859 件	363 件	635 件	998 件	53.7%	2023 年 7 月 7 日 ～21 日
(子どもへの調査)				674 件	82 件	180 件	262 件	38.9%	
関係機関	管理者調査	郵送	郵送・WEB	181 件	38 件	55 件	93 件	51.4%	
	従事者調査	郵送	WEB	181 件	-	80 件	80 件	44.2%	
事業所調査		郵送	WEB	78 件	-	36 件	36 件	46.2%	

3. 前回アンケート調査の概要

一部設問においては、2017 年に『町田市子ども発達支援計画 2018～2020（第一期障害児福祉計画）』策定のために実施した「町田市子どもの発達支援に関する市民意識調査」の結果を「前回調査」として、今回の調査結果との比較を実施しています。（回答条件や設問文が同じで比較できるときに限る）

前回調査の実施概要は以下の通りです。

- 保護者調査：障害者手帳所持、特別支援学級利用、通級指導学級利用、すみれ教室（現子ども発達センター）利用児童、訪問看護事業利用児童の保護者
- 関係機関調査：地域子育て相談センター、保育園・幼稚園等、公立小学校、公立中学校

調査名	配布方法	回答方法	発送数	郵送回収数	WEB回収数	回収数	回収率	回答期間
保護者調査	郵送	郵送・WEB	2,673 件	994 件	164 件	1,158 件	43.3%	2017 年 6月16日～ 30日
関係機関	郵送	郵送	180 件	117 件	-	117 件	65.0%	

4. 『気になる子』について

今回調査において、『気になる子』という表現を用いていますが、以下の表で例示する気になる特徴を示し、育ちの面において、個別的な支援が必要と思われる児童・生徒を指しています。

気になる子の特徴の例
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人との関わり方（一人遊びが多い、集団に入らない など） ・ ことば（言葉が遅い、おうむ返し など） ・ 想像力・こだわり（相手が傷つくことをいう、こだわりが強い など） ・ 注意・集中（落ち着かない、集中力がない など） ・ 感覚（雷や大きな音が苦手、極端な偏食、すき間など狭い空間を好む など） ・ 運動（床に寝転がることが多い、極端に不器用 など） ・ 理解（生活習慣が身につかない、指示が理解できない など） ・ 情緒・感情（注意されるとかっとなりやすい、感情が高まると興奮がおさまらない など）

5. 報告書の見方

- ・ グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
- ・ 複数回答の場合、割合の降順になるように並び替えています。（一部並び替え未実施）
- ・ クロス集計の基本軸の項目では基本属性が不明だった「無回答」の方を除いて表示しており、分析軸に表示している各項目の回答数合計は全体の回答数と一致しない場合があります。
- ・ 自由記述の回答は、表現方法などを統一するために原文を一部修正して記載しています。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。正しい表現等は巻末の調査票を参照してください。
- ・ 手帳や診断等の状況について、図表や文章では次のような障がい種別の名称に省略します。

障がい種別等		略称
身体障がい者手帳	⇒	身体
愛の手帳（療育手帳）	⇒	知的
精神障がい者保健福祉手帳	⇒	精神
自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	⇒	自立
難病医療費等助成対象疾病である	⇒	難病
発達障害や発達の遅れがあると診断されたことがある	⇒	発達
高次脳機能障害と診断されたことがある	⇒	高次脳機能障害

6. ヒアリング調査の目的

町田市内の関係機関・団体を対象に、子どもの発達支援に関する課題を聴取し、アンケート調査による量的データから推測する課題の事実確認を行うとともに、量的データだけでは把握できないマイノリティな悩みや困難を確認することで、市の施策の優先度を判断するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

7. ヒアリング対象・内容

以下を対象に 2023 年 8 月から 10 月にヒアリング実施。

実施日	実施対象
8/22	町田市福祉懇談会代表
8/23	町田市立中学校長会代表
8/23	町田市民病院
8/31	町田市立小学校長会代表
9/5	東京都立町田の丘学園（生徒・教員）
9/8	町田市私立幼稚園協会
10/4	町田市医師会
書面実施	町田市法人立保育園協会

以下のテーマを中心にヒアリングを実施。

テーマ1：この2～3年の子どもの発達支援の課題・困難について

- ① 支援や手助けが必要な子どもの状態像の変化
- ② 保護者の意識や行動の変化
- ③ コロナ禍での生活・支援による今後の子ども・保護者への影響

テーマ2：発達支援を支える支援者について

- ① 市内の支援・サービスの過不足に関すること
- ② 人材の確保・定着に関する課題
- ③ 在職職員や提供する療育の質の向上に向けた取組・課題
- ④ 支援者間での情報共有・連携の取組・課題

テーマ3：地域共生に向けた地域の人々との連携について

- ① 障がいへの理解促進に必要な取組
- ② 障がい児が地域で生活するために必要なこと

テーマ4：支援や手助けが必要な子どもの意見を聴くために必要な行動・姿勢

- ① 市役所や行政に必要なこと
- ② 教育・保育施設に必要なこと
- ③ 障がい児福祉サービス事業所に必要なこと
- ④ 地域の人々に必要なこと